

令和4年度

放課後等デイサービス 事業所における自己評価

事業所名:旭川児童院通園センター

回答数:7

公表年月日:令和3年 3月29日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善目標、改善内容
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0		基準を満たしているが、児の実態により、手狭に感じるという意見あり。密を避けながら、安全に活動できる配置を検討する。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	0	基準以上の配置をしている。	医療的ケアの必要度に対して、看護師が不足しているという意見あり。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	1		バリアフリーだが構造化されていない。生活介護と一体化の事業展開の中で、行える工夫をしていく(可動式のパテーションを使用する等)。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2	0		児者一体で過ごすため、個別の活動に合わせた空間の確保が難しい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	3		感染対策の為、不定期のご利用となっており、目標設定ができていない。振り返りに全スタッフが参加できていない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	1		定期的なご利用の希望があるが、お受けできていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	0	職員による自己評価を行い、代わりとしている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	状態や学校での様子を聞き取りしたうえで計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	4	3		利用児の特性上、標準化されたツールを使用することが難しい。検討が必要だと感じる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	1		利用回数が少なく、発達支援が中心となっている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	4		定期利用児は、同一の活動になりがちである。発達段階やニーズに合わせた活動を検討する。
	16	平日、休日に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3	3	長期休暇時には、時期に合った活動提供を心掛けている。	平日の放課後、休日はお受けできていない。
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	2			

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	2		
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	0	必要に応じて行っている。	
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0		
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	通年利用児には行えている。	
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	1	3		利用回数の少なさ、コロナ対策の為、地域活動が行えていない。
関係機関や保護者への説明	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0		児発管、担当者が参加するようにしているが、調整が難しく代理者が出席することがあった。
	24	学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか	5	0	2	保護者に学校での様子や課題をお聞きしている。	
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や強力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0	1		
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	1		自施設の児童発達支援利用児であるため、必要がなかった。利用児の実態に合わせて行っていく。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	1		今年度、該当者なし。必要に応じて行っていく。
	28	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	1		発達障害者支援センターとの連携は行っていない。今後、利用児の特性に合わせて検討していく。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5	2		ニーズがあれば今後、検討していく。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	2		
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0		
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	1	契約時に丁寧に説明している。	
保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	1		感染対策上、集う機会を設けることができなかった。収束後は設定できるよう努める。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	2	通年利用児には園便りを発行している。	
	37	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	1		意思疎通のためのツールは使用できていない。

	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	0	5	2		
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	1		保護者には周知ができていないことがある。マニュアルの変更があれば、その都度伝えられるよう努める。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	1		訓練実施日に利用していない児は参加できていない。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0		
	43	やむを得ず身体拘束を行う場合について、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0		
	44	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	0	0		
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0		
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0		

【総合的に】

今年度もコロナ感染対策の為、長期休暇の放課後等デイサービス受け入れを限定せざるを得ませんでした。そのため、交流の機会や、父母の会活動の項目で低い評価になっています。今後、保護者のニーズを把握し直し、実態に合った機会の提供を検討していきます。